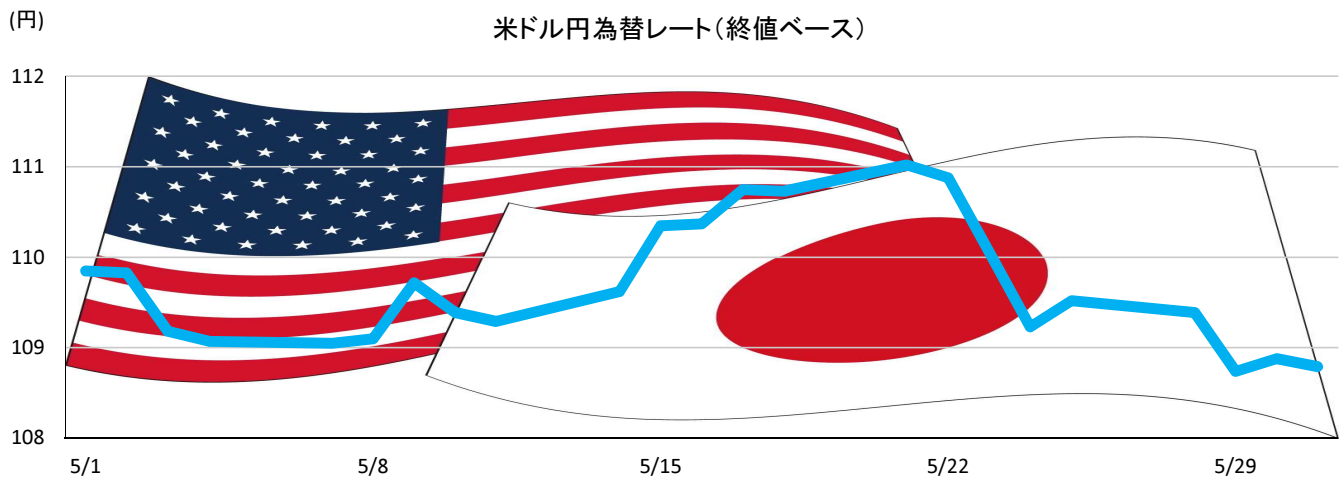


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 5月のドル円相場は、108円前半～111円半ばで推移。北朝鮮情勢の行方が定まらない中、米中貿易協議が不調との報道や、ドル円110円台達成感もあり月初は上値が重く、月半ばまでは一進一退の動きが続いていた。その後、北朝鮮が核実験場を廃棄するとの報道から地政学リスクが後退したことや、ムニューシン米財務長官が中国との貿易戦争を当面中止すると発言したこともあり、再度ドル買いが進行した。しかし米朝首脳会談が中止になるとの報道から、一転ドル売りの流れに変わった。月末にかけていくつか材料はあったものの、その中心は北朝鮮情勢。米朝首脳会談中止から予定通り開催すると報道され、市場も読みづらくなっているのか、一進一退の動きのまま5月を終えた。



EXTRA VISION

今後の展開: ついに米朝首脳会談が開催された。合意内容については細かく精査する時間が必要で、展開は読みづらいものの、朝鮮半島の非核化が約束されたことで、北朝鮮リスクが一時的に後退したことはマーケットにも好影響を与えてくるはずだが、楽観視は禁物だ。さて米朝会談が終わったことで、マーケットの関心事は経済指標など変わってくるだろう。米中貿易問題や欧州リスクは依然として燻り続けており、米朝融和ムードのドル高に水を差される可能性も否定できない。次の流れに備えてポジションをしっかりと作っていききたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 21 (金)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
6 / 25 (水)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
6 / 28 (金)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
6 / 29 (木)	17 : 30	GB	英GDP確定値	☆☆☆☆
7 / 6 (木)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 12 (木)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
7 / 16 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。